

ビジネス界のリーダー、カーボン・プライシングへの強いコミットメントを表明

～気候サミットでの「民間セクター・フォーラム」～

2014年9月23日、潘基文（パン・ギムン）国連事務総長が主催した「気候サミット」において「[民間セクター・フォーラム](#)」が開かれました。このフォーラムで特に注目されたのが、31の企業によるカーボン・プライシング（炭素価格付け）の取り組みについての表明です。ニューヨークの国連本部で行われた今回のフォーラムには、世界各国から [400人以上のビジネス、政治、そして市民社会のリーダー](#)が参加しました。



潘事務総長によるオープニング・スピーチ

民間セクター・フォーラムのオープニングで潘事務総長は、今世紀末までに温室効果ガスの排出量を積極的に減らし、排出量のすべてを相殺する「カーボン・ニュートラル」の実現に向けた努力を各国の国家元首やビジネス界のリーダーへ[強く求めました](#)。

潘事務総長は、こう強調します。

「低炭素経済への移行が生み出す多くの機会は、全ての人々、コミュニティ、団体に利益をもたらします。まず、炭素に価格を付けなければなりません。カーボン・プライシングは、温室効果ガスの削減、そして低炭素経済の発展に寄与するイノベーションの促進と資金調達に必要不可欠です。」



米国元副大統領、環境活動家

アル・ゴア氏

潘事務総長が掲げる「[Caring for Climate \(ケアリング・フォー・クライメット\)](#)」イニシアチブのパートナー組織によって設けられた「[Business Leadership Criteria on Carbon Pricing \(カーボン・プライシングにおけるビジネス・リーダーシップの基準\)](#)」は、企業に対し、以下の3つに取り組むよう求めています。

1. カーボン・プライシングを長期的な企業戦略と投資に組み込む
2. カーボン・プライシングの重要性を一般社会に向けて提唱する
3. 上記2つの取り組みの進捗を各企業の報告書に記載し、一般公開する

これらの取り組みの導入を表明した 31 の企業には、北米、ヨーロッパ、中国、ブラジル、そしてアフリカからの石油、ガス、公益、消費者向け製品、化学製品、そしてエネルギー会社が含まれます。

「Business Leadership Criteria on Carbon Pricing」は、2007 年から始まった「Caring for Climate」イニシアチブをさらに加速させるために作られ、[国連グローバル・コンパクト \(UNGC\)](#)、[国連環境計画 \(UNEP\)](#)、[国連気候変動枠組条約 \(UNFCCC\)](#)、および「Caring for Climate」とパートナーシップを組んでいる[国連財団 \(UN Foundation\)](#)、[気候グループ \(The Climate Group\)](#)、そして[国連開発政策委員会 \(CDP\)](#) が促進しています。

カーボン・プライシングの取り組みは、政府と企業との強い連携のもと、環境再生事業の促進、気候政策への資金調達、雇用の創出、そして大規模な持続可能なエネルギー・システムの構築を目指しています。既に世界 60 カ国からの企業 400 社が、「[Caring for Climate Statement](#)」の声明を通して、炭素排出への価格付けを求めました。

今回のフォーラムとは他に、カーボン・プライシングの重要性と有効性が民間・公共セクターで認識されていることを表す 2 つの発表がありました。

- 「[Global Investor Statement on Climate Change \(グローバル機関投資家による気候変動に関する声明\)](#)」の一環として、計 24 兆米ドルの資産を持つ 340 以上のグローバル機関投資家たちにより、安定性、信頼性、経済的に利益をもたらすと考えられるカーボン・プライシングの導入を各国政府に要請しました。また、化石燃料への補助金廃止についても求めました。
- [世界銀行グループ](#)により、世界の温室効果ガスの排出の 54%を占める 73 の中央政府と 11 の地方政府のリストと、カーボン・プライシング導入への支持を表明する 1,000 の企業や投資家の名前が[公開](#)されました。



「気候変動」に重点的に取り組む新たな国連
ピース・メッセンジャーに任命された
レオナルド・ディカプリオ氏



「High-Level Luncheon
(ハイレベル昼食会)」の様子



ビジネス、政治、市民社会の
リーダーが熱心に議論に臨む

潘事務総長は、「各リーダーによる、カーボン・プライシングと化石燃料への補助金廃止の取り組みを歓迎します。カーボン・プライシングを長期的な企業戦略に組み込むためには、公平な競争の場が必要です」と声明を出し、上記の発表とカーボン・プライシングの支持の拡大を歓迎しました。

今回開催された[国連気候サミット](#)は、2015 年中に気候変動対策の国際的な合意を実現するため、政治的意思を動員する機会でした。また、[COP20](#)と[COP21](#)に向けて、参加企業の気候政策の目標や公約を発表する場にもなり、企業 11 社が具体的な[気候政策を発表しました](#)。

潘事務総長が 2008 年に立ち上げた「民間セクター・フォーラム」は、主要なテーマを扱う国連総会中の政府間協議に民間セクターからの声を届ける役割を果たします。過去のフォーラムでは、ミレニアム開発目標（MDGs）、食料安全保障、持続可能エネルギー、そしてアフリカなどの話題へ焦点が当てられました。

その他の情報

- 原文（英語）は
<http://www.unglobalcompact.org/news/1281-09-23-2014>
- 民間セクター・フォーラム「High-Level Luncheon（ハイレベル昼食会）」の動画（英語）は
<http://webtv.un.org/search/climate-summit-2014-private-sector-forum-lunch/3802178335001?term=2014-09-23&sort=date#full-text>



レオナルド・ディカプリオ国連ピース・メッセージャー（左から4人目）とリー・ビンビン国連環境（UNEP）親善大使（中央）